3世代同居多い岐阜 「孫向け商戦」が好機

岐経大の竹内副学長講演



人口減少社会でのチャンスをテーマに講演する竹内治彦氏＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル

大垣信用金庫の取引先でつくる大信経済クラブの第8回トップセミナーが18日、大垣市万石の大垣フォーラムホテルで開かれた。岐阜経済大副学長の竹内治彦氏が「人口減少社会でのチャンスの捉え方」と題して講演した。約200人の参加者を前に竹内氏は日本の人口推移のグラフを示しながら、現在1億2700万人の人口が2050年に2千万人減ると説明した。理由として「今の40代が就職不況で正社員になれず、結婚や出産が抑圧され第3次ベビーブームが起きなかった」と解説。さらに「女性は30歳前後での出産が多く、現在の少子化対策は60年後にしか効果が出ない」と指摘した。

一方、岐阜県民は全国と比べて持ち家率が高く、3世代同居や貯蓄も多いなどの特徴があるとし、「祖父母が孫のためにお金を使うことを促す演出を考えてほしい」と提案した。

無断複製・転載を禁じます